

## にし茶屋街

にし茶屋街は、金沢の3つの歴史的な歓楽街であるお茶屋街の一つ。ここでは、芸妓（地元での芸者の呼び方）たちが、富裕な得意客を、音楽、踊りと遊びでもてなすため、ひがし茶屋街とともに、1820年に設置された。

付近のメインストリートには、伝統的な木造のお茶屋が立ち並び、かつての趣を湛えている。現在、建物の多くは、甘味処やカフェとなっているが、いくつかはまだ高級芸妓の接待場所として営業されている。

通りの一番端にある人形ミュージアムは、かつてお茶屋だった建物にある。このミュージアムには、日本各地から集めた膨大な人形のコレクションが展示されている。通りの反対側の端にある、かつてお茶屋だったもう一つの建物には、無料で見学できる西茶屋資料館がある。この資料館で訪問者たちは、当時、芸妓が顧客を接待するために使用していた設備が整った部屋を見学できる。